



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 桂 龍司

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	46,918	7.2	471	△61.3	420	△65.9	131	△85.1
2022年3月期第3四半期	43,769	2.4	1,220	△27.1	1,233	△21.2	883	△38.1

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 1,784百万円 (11.8%) 2022年3月期第3四半期 1,596百万円 (△7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	5.39	—
2022年3月期第3四半期	36.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	74,420	38,532	51.5
2022年3月期	71,971	37,093	51.4

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 38,357百万円 2022年3月期 36,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2023年3月期	—	8.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.6	400	△59.2	400	△64.5	200	△75.8	8.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	24,733,466 株	2022年3月期	24,733,466 株
2023年3月期3Q	284,220 株	2022年3月期	301,499 株
2023年3月期3Q	24,441,424 株	2022年3月期3Q	24,426,598 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえのない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第3四半期連結累計期間は、日本国内においては、急性血液浄化事業に係る販売が増加したほか、薬剤調製・投与クローズドシステムや人工心肺用回路などの販売が堅調に推移しました。海外においては、国・地域ごとに状況は異なるものの、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響からの回復が見られ、AVF針（血液透析用針）や成分献血用回路の販売が増加したほか、血液バッグの販売も好調に推移しました。

以上の結果、売上高は、円安による円貨換算額の増加も加わり、前年同四半期に比べ31億48百万円増加の469億18百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

利益につきましては、増収効果はあるものの、原材料費や電力費、海上運賃の高騰による影響を受けたことに加え、労務費の増加や、段階的な販売活動の再開に伴い販売費が増加したことにより、営業利益は4億71百万円（前年同四半期比61.3%減）となりました。また、持分法による投資損失の計上などにより、経常利益は4億20百万円（前年同四半期比65.9%減）となりました。これに投資有価証券売却益や法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億31百万円（前年同四半期比85.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

半導体等の調達難により一部製品の生産調整が継続するも、急性血液浄化事業に係る販売が中国向けを含めて増加したほか、薬剤調製・投与クローズドシステムや人工心肺用回路の販売も堅調に推移したことにより、売上高は329億23百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。セグメント利益については、原材料費や電力費、海上運賃の高騰影響を受けたことに加え、円安による外貨建て仕入取引の円貨換算額や販売活動費の段階的な増加により、1億37百万円（前年同四半期比84.9%減）となりました。

（シンガポール）

成分献血用回路の販売が北米において回復を見せたことに加え、アジア向け血液バッグの販売が増加したことにより、売上高は168億10百万円（前年同四半期比29.1%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費の高騰や労務費の増加を増収効果で吸収したほか、為替差益の計上により、2億22百万円（前年同四半期比441.4%増）となりました。

（中国）

AVF針や人工腎臓用血液回路、急性血液浄化回路の販売が堅調に推移したことにより、売上高は29億53百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費の高騰に加え、労務費などの増加もあり、94百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

（フィリピン）

欧州向けAVF針の販売が減少したものの、アジア向け血液バッグや日本向け輸液セットの増加により、売上高は27億18百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費や電力費の高騰に加え、労務費の増加もあり、32百万円（前年同四半期比85.3%減）となりました。

（ドイツ）

透析用チェアや透析キットの販売が好調に推移したことにより、売上高は28億17百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。また、セグメント利益については、海上運賃の増加を増収効果で吸収し、1億36百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

(その他)

北米向けAVF針の増加などにより、売上高は40億12百万円（前年同四半期比33.3%増）となり、セグメント利益については、42百万円（前年同四半期比161.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億49百万円増加の744億20百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ21億65百万円増加の422億8百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加の322億11百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億64百万円減少の219億83百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ18億74百万円増加の139億4百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億39百万円増加の385億32百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇の51.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、2023年3月期通期の連結業績予想について、2022年11月4日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,605	6,254
受取手形及び売掛金	16,077	17,318
有価証券	208	—
商品及び製品	8,815	9,347
仕掛品	2,848	3,199
原材料及び貯蔵品	4,870	5,308
その他	646	808
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	40,042	42,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,621	9,113
機械装置及び運搬具（純額）	8,246	8,531
その他（純額）	8,592	8,296
有形固定資産合計	25,460	25,941
無形固定資産		
のれん	134	123
その他	900	775
無形固定資産合計	1,035	899
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,519	5,453
貸倒引当金	△86	△82
投資その他の資産合計	5,432	5,370
固定資産合計	31,928	32,211
資産合計	71,971	74,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,482	8,339
短期借入金	3,450	2,913
1年内返済予定の長期借入金	4,604	5,177
未払法人税等	229	148
賞与引当金	1,097	638
資産除去債務	25	—
その他	4,958	4,766
流動負債合計	22,847	21,983
固定負債		
長期借入金	10,112	12,085
役員退職慰労引当金	139	148
退職給付に係る負債	653	663
資産除去債務	166	184
その他	958	823
固定負債合計	12,030	13,904
負債合計	34,878	35,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,652	17,365
自己株式	△233	△219
株主資本合計	35,182	34,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	363
為替換算調整勘定	1,437	3,085
その他の包括利益累計額合計	1,777	3,449
非支配株主持分	133	174
純資産合計	37,093	38,532
負債純資産合計	71,971	74,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	43,769	46,918
売上原価	32,752	36,121
売上総利益	11,017	10,796
販売費及び一般管理費	9,796	10,325
営業利益	1,220	471
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	46	47
持分法による投資利益	74	—
受取手数料	3	40
補助金収入	64	26
その他	55	62
営業外収益合計	249	186
営業外費用		
支払利息	122	119
持分法による投資損失	—	94
為替差損	99	12
その他	14	11
営業外費用合計	236	238
経常利益	1,233	420
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	—	57
特別利益合計	2	65
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	32	18
特別損失合計	32	19
税金等調整前四半期純利益	1,203	466
法人税、住民税及び事業税	177	229
法人税等調整額	148	123
法人税等合計	325	353
四半期純利益	877	112
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益	883	131

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	877	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	23
為替換算調整勘定	761	1,648
その他の包括利益合計	718	1,671
四半期包括利益	1,596	1,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,603	1,798
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,042	6,730	1,338	9	2,639	40,760	3,009	43,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,989	6,290	1,206	2,419	4	11,909	—	11,909
計	32,031	13,020	2,544	2,429	2,643	52,670	3,009	55,679
セグメント利益又は損失(△)	909	41	108	224	129	1,413	16	1,429

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,413
「その他」の区分の利益又は損失(△)	16
セグメント間取引消去	△311
持分法投資利益又は損失(△)	76
その他の調整額	38
四半期連結損益計算書の経常利益	1,233

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,886	8,586	1,608	11	2,813	42,906	4,012	46,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,036	8,224	1,344	2,707	3	15,317	—	15,317
計	32,923	16,810	2,953	2,718	2,817	58,223	4,012	62,236
セグメント利益又は損失(△)	137	222	94	32	136	623	42	665

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
「その他」の区分の利益又は損失(△)	42
セグメント間取引消去	△121
持分法投資利益又は損失(△)	△94
その他の調整額	△29
四半期連結損益計算書の経常利益	420